



FLUSH BOTTOM  
**TANK VALVE**  
**RICHIL LINING<sup>®</sup>**

FT-2101-L Series  
FTD-2101-L Series

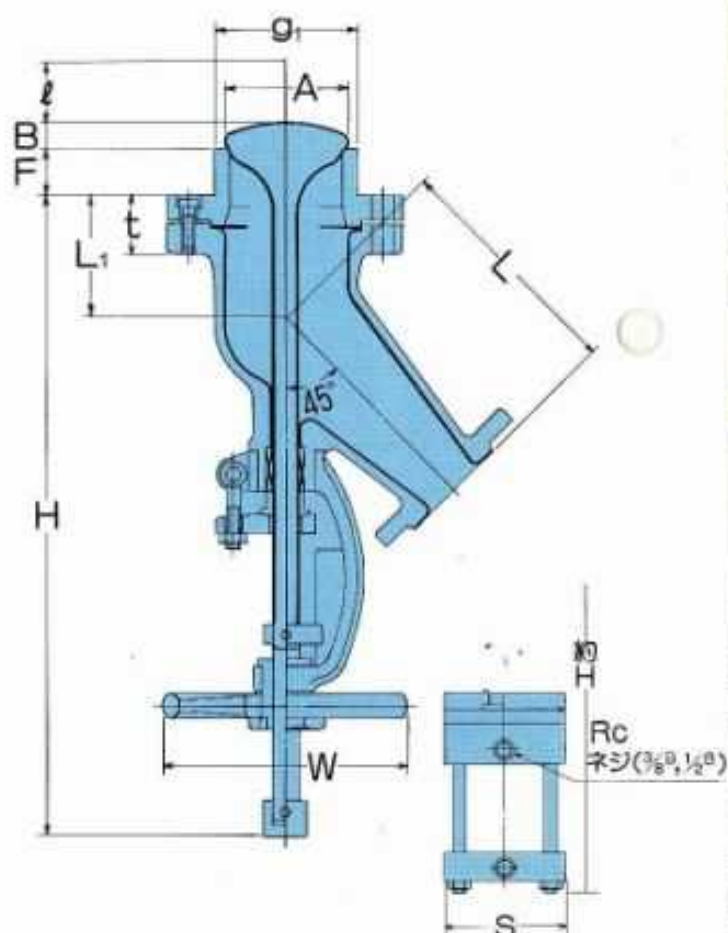
**HEIWA VALVE** CO.,LTD.



# リチルライニング® 手動/自動・弁上昇開型 タンクバルブ 高腐食性流体用

MANUAL OR AUTOMATIC OPERATED RICHIL LINING BODY, DISC OPENS INTO TANK/TANK VALVE

呼び径	1 <sup>B</sup> × 2 <sup>B</sup>	1½ <sup>B</sup> × 2½ <sup>B</sup>	2 <sup>B</sup> × 4 <sup>B</sup>	2½ <sup>B</sup> × 4 <sup>B</sup>	3 <sup>B</sup> × 5 <sup>B</sup>	4 <sup>B</sup> × 6 <sup>B</sup>	
d <sup>φ</sup>	25	38	51	64	76	102	
L	170	190	210	220	230	280	
L <sub>1</sub>	85	90	100	100	112	124	
A	60	70	110	110	130	150	
B	18	19	21	21	22	28	
g <sup>+0/-0.5</sup>	70	80	125	125	145	165	
F	35	35	35	35	40	40	
H (約)	手動	471	545	614	614	688	856
	自動	554	622	690	690	784	926
Q	35	55	55	55	75	90	
W <sup>φ</sup>	160	180	230	230	250	300	
S	94	94	138	138	178	216	
タンク側フランジ	呼び	2 <sup>B</sup>	2½ <sup>B</sup>	4 <sup>B</sup>	4 <sup>B</sup>	5 <sup>B</sup>	6 <sup>B</sup>
	D <sup>φ</sup>	155	175	210	210	250	280
	C <sup>φ</sup>	120	140	175	175	210	240
	t	43	45	45	45	49	53
	ボルト	4×19 <sup>φ</sup>	4×19 <sup>φ</sup>	8×19 <sup>φ</sup>	8×19 <sup>φ</sup>	8×23 <sup>φ</sup>	8×23 <sup>φ</sup>
出口側フランジ	呼び	1 <sup>B</sup>	1½ <sup>B</sup>	2 <sup>B</sup>	2½ <sup>B</sup>	3 <sup>B</sup>	4 <sup>B</sup>
	D <sub>1</sub> <sup>φ</sup>	125	140	155	175	185	210
	C <sub>1</sub> <sup>φ</sup>	90	105	120	140	150	175
	g <sup>φ</sup>	67	81	96	116	126	151
	t <sub>1</sub>	16	18	18	20	20	20
	f	3	4	4	4	4	4
ボルト	4×19 <sup>φ</sup>	4×19 <sup>φ</sup>	4×19 <sup>φ</sup>	4×19 <sup>φ</sup>	8×19 <sup>φ</sup>	8×19 <sup>φ</sup>	



●手動式

軸てヨークスリーブを介して弁棒を回転式とし、ハンドル車の位置はステム中心線上にある場合とサイドに設ける場合があります。サイドハンドルは出口方向を除き、中心線と直角の3方向となります。遠隔操作はタンクとバルブの取付構造に合わせ、適切な操作方法が選定できます。

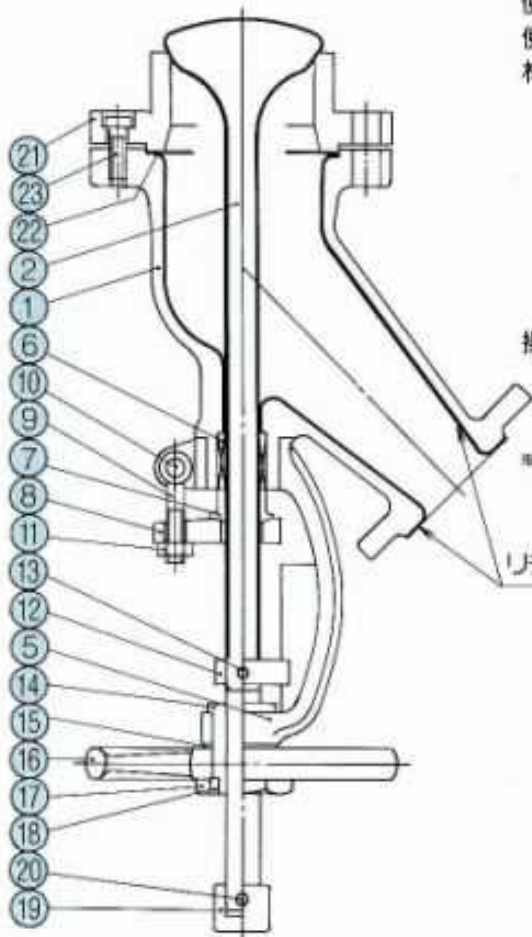
●シリンダ（複動）アクチュエータ付

アクチュエータは強力なエアの出る複動空圧シリンダを用いています。流体の高い粘性や沈着物に打ち勝つためです。手動式も製作致します。四方電磁弁、エアセット（減圧弁、フィルタ、ルブリケーター）、遠隔調整弁、リミットスイッチおよび自動制御用ポジシユサ等の付属機器（オプション）により、多彩な自動制御が行えます。作動源エア圧力0.4~0.6MPaG（標準）必ず反動中、吐出時のタンク内圧力（正圧、負圧）および流体温度をご指示下さい。

●手動装置について

自動制御バルブは、緊急時又は調整を行う場合、手動操作に転換することが多いので手動装置を必要とします。最も手近かな手動操作は電磁弁に付属しているマニュアルボタンを用いますが、さらに安全確保をはかり手動ハンドルを用いて、「開-閉」を行うようになっています。停電事故等による災害でエア圧が消失する恐れのある場合は、瞬時電磁電圧弁を用いるが、回路中にマニュアルリセット式電磁弁を設ける方法もあります。

手動式



標準仕様

使用流体：高度食性流体、高粘着性流体

使用圧力：1.0MPaG

材 質：ボデーSCS13内部リチルライニング®膜厚3mm

シートリング(A)ETFEまたはPFA系樹脂コーティング  
(地金SCS13)膜厚300~400ミクロン

(B)ETFE製

(C) Hastelloy B,C,C-22®

ディスクステム1体構造

(A)ETFEコーティング膜厚300~400ミクロン

(B) Hastelloy B,C,C-22®

操作方式 手動：ハンドル車弁棒上昇弁開型

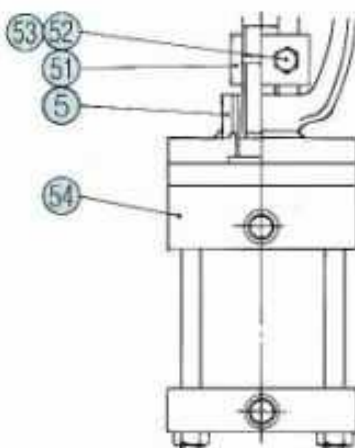
自動：エアシリンダ・ダブルアクチング

操作圧力0.4~0.6MPaG

\*ライニング及びコーティング材質は、流体によって選定致しますので、ご注文の際は流体仕様をお知らせ下さい。

リチルライニング®

自動式



No.	部 品 名	材 質
1	ボデー	SCS13
2	ディスクステム	
5	ヨーク	SCS13
6	グランドパッキング	PTFE
7	グランド	SUS304
8	グランドフランジ	SCS13
9	アイボルト	
10	アイボルトピン	SUS304
11	ナット	
12	インジケーター	S20C
13	スプリングピン	SUS304
14	スリーブ	CAC406
15	ワッシャ	
16	ハンドル	FCMB28
17	ロックナット	S25C
18	セットスクリュー	SUS304
19	キャップ	SUS304
20	スプリングピン	SUS304
21	シートリング	PTFE
22	ガスケット	PTFE
23	ボルト	SUS304
51	ステムクランプ	S25C
52	ボルト	SUS304
53	ナット	
54	シリンダー	

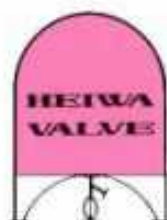
Hastelloyは三菱マテリアル(株)製の登録商標です。  
リチルライニングは日本フッソ工業(株)製の登録商標です。

# HEIWA タンクバルブで照会に際して

下記項目をご指定いただくことによって、より迅速に又正確な仕様が作成できますので、ご照会に際してご利用下さい。

基本仕様	1	バルブ形式	上昇・開閉(外弁式)	17	駆動形式	手動、自動(シリンダ・複・単)	
	2	モデル No.	FT-3101-L(45)		18	作動動作	(Nor) (Max) MPaG
仕様	3	呼び径	排出口径×タンク取付径(例)2×4	19	作動特性	ON-OFF.	
	4	材質		20	供給圧力	(Nor) (Max) MPaG	
流体	5	仕様流体	(スラリー性、粘性)	21	手動装置	(要、不要)	
	6	使用圧力	MPaG(Max.)	仕様	22	ポジション	(要、不要) 供給圧力 MPaG メーカー名(型番) 信号圧力 MPaG
7	閉鎖時タンク内残圧	MPaG(Max.)	23		電磁弁	(要、不要) 三方、四方防滴型、防凍型 AC, DC V Hz	
本体仕様	8	反作時タンク内真空度	Torr	付属品	24	リミットスイッチ	(要、不要) メーカー名(型番) 防滴、防凍型・(開、閉) (1, 2)接点 AC, DC V Hz
	9	流体温度	℃		25	フィルタ付減圧弁 ルブリケーター スピードコントローラ その他	(要、不要) (要、不要) (要、不要)
仕様	10	流量	m <sup>3</sup> /H(標準, 最大)	接続部	26	フランジ規格 形状	JIS, その他
	11	比重					
本体仕様	12	粘度・スラリー濃度	(cP) (%)				
	13	ボデー材質					
	14	トリム材質					
	15	特殊仕様					
	16	G パッキン	PTFE・V-リング				

(注)本カタログの寸法、形状、材質、仕様その他については予告なく変更することがあります。



## 平和バルブ工業株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田5丁目2番11号  
 TEL (03) 3493-5855(代表)  
 FAX (03) 3493-5858  
 URL: <http://www.heiwa-valve.co.jp>  
 E-mail: [mail@heiwa-valve.co.jp](mailto:mail@heiwa-valve.co.jp)

## HEIWA VALVE CO., LTD.

5-2-11, NISHI-GOTANDA, SHINAGAWA-KU, TOKYO 141-0031, JAPAN  
 PHONE: TOKYO(03)3493-5855 TELEFAX: (03)3493-5858

- タンクを支えるHEIWAの技術
- タンクバルブ(手動、自動各種) ■サンプリングバルブ
- 安全弁・レリーフバルブ ■特殊高圧、真空バルブ
- 特殊ブリザーバルブ ■ステンレス鋼一般弁、ストレーナ

代理店